HJC VINA LIMITED COMPANY
Made In Vietnam

#1 IN THE WORLD

# i30
## OWNER'S MANUAL


**EUROPE**
1 rue Benjamin Silliman 67116 Reichstett-France
Tel : 33 (0)3 90 22 74 00
Fax : + 33 (0)3 90 20 09 12
info@hjc-europe.com

**AMERICA**
511 S. Harbor Blvd. Suite V La Habra, California 90631
Tel : 562 407 2188
Fax : 562 802 7706
info@hjchelmets.com

**www.hjchelmets.com**

HJC Corp.



販売元
株式会社 アールエス タイチ
〒578-0901　大阪府東大阪市加納6-4-9　お客様相談窓口：0120-22-3403
TEL. 072-874-3268　FAX. 072-874-3385　e-mail：taichi@rs-taichi.co.jp

製造元
**HJC VINA LIMITED COMPANY**
Khai Quang Industrial zone, Khai Quang Ward,
Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Viet Nam Tel. 84-211-3726-911


Rev.01

### ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、ＨＪＣヘルメットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はＨＪＣヘルメットの正しい取り扱いについて説明しております。ご使用になる前に必ずお読み頂き、安全快適なバイクライフをお楽しみください。又ヘルメットの取り扱い中ご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございますので、必ず読み直ください。またお読みの後は大切に保管しておいて下さい。

ＳＧマークは(Safe Goods)安全な製品の略号で一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造、材質、使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について、安全な製品として必要な事を決めたSG基準を、一般財団法人製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

PSマークのPはProduct(製品)、SはSafety(安全)の略号で国が定めたものです。なお、PSマークの下のCはConsumer(消費者)の略号です。国は、消費生活用製品のうち、一般消費者の生命又は身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「特定製品」として政令で指定し、国で定めた技術上の基準に適合しているかどうかをチェックします。合格した製品にはPSCマークの表示がされ、PSCマークを表示していないものはその販売を禁止されています。

### 乗車用ヘルメットの有効期限は、『購入後３年です』

ヘルメットは使用に伴い老朽化、劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためＳＧマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、『購入後３年』との有効期限を定めております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又３年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、充分ご注意ください。

### ＳＧマークのマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているＳＧマークは、万一ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があり一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース/サーカス等)に用いている際の負傷やSG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

### 製品の欠陥により事故がおきた場合は

『賠償手続きは以下の通りです』
1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。
   電話番号は03-5808-3303です。
2. 『事故発生届』又は『賠償損害実施請求書』を提出してください。
   (原因として事故発生より６０日以内)
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうかが決定します。

### ＳＧマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012　東京都台東区竜泉　2-20-2　ミサワホームズ　三ノ輪２階
一般財団法人製品安全協会
電話番号　03-5808-3300

### ✿安全の為の重要な情報

**⚠警告**
本取扱説明書には正しいヘルメットの選び方や着用の仕方、取扱い方法や交換時期などについて記載しております。問題った使い方をすると、万一の事故の際に重症を招いたり、最悪の場合死に至ることもあります。最大限の保護効果を得るために、常に以下の事を実施して頂く必要があります。
＊走行時はおがヘルメットを着用する
＊偶発的な損傷を避けるために、ヘルメットを丁寧に取り扱う
＊ヘルメットを着用していても常にリスクの少ない安全運転を行う
HJCヘルメットは着用することで事故の際の怪我を防いだり、損傷を減らす為に作られていますが、全ての衝撃から着用者を保護できる訳ではありません。例えばヘルメットは身体や頭部の損傷を防ぐことはできません。また、ヘルメットを着用している範囲の損傷を防ぐことを保証している訳ではありません。低速での事故であっても、場合によっては重傷や死に至る場合があります。

### ✿正しいヘルメットの選び方

**⚠警告**　このヘルメットはフルフェイスヘルメットほど広範囲を保護することはできません。
頭部全体をカバーするヘルメットを着用することでより広い範囲を保護することができます。

**⚠警告**　中古ヘルメットを購入して使ったり、他人から借りたヘルメットを使用してはいけません。ヘルメットは使用するにつれ、内装が着用者の頭の形状に合うように形成されていきます。中古ヘルメットや他人から借りたヘルメットでは、新品のヘルメットのように充分な保護性能を発揮できません。

**⚠警告**　間違った サイズのヘルメットを使用した場合、万一の事故の際に重症や死に至る危険性が高まります。大き過ぎるサイズを着用した場合、事故の際にヘルメットが脱げる可能性があり大変危険です。正しいサイズを選ぶ為に、以下の方法を参考にしてください。

**1. 頭のサイズを測定する**　眉の上２.５cmの高さで、頭の周長をメジャーで測ります。

**2. サイズチャートを参照する**　頭の周長に一番近いサイズを、サイズチャートから選びます。数値が各サイズの中間に位置する場合、まずは大きい方のサイズから試し、次に小さい方のサイズを試してください。

#### サイズチャート

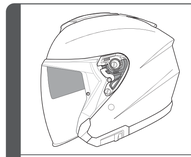
**⚠警告**　サイズチャートはあくまで参考値です。必ずヘルメットを着用して適切なサイズを選んでください。

| サイズ | S | M | L | XL |
|---|---|---|---|---|
| センチチャート(CM) | 55-56 | 57-58 | 58-59 | 60-61 |

**3. ヘルメットを着用する**　左右のあご紐をつかんで、頭頂部にヘルメットの内装が触れるまでしっかりと被ります。

**4. サイズが適切かどうかの確認**　ヘルメットサイズが適切かどうかを確認する為に以下の事項を確認してください。
＊ヘルメットの内装が頭の周りにぴったり合っているかどうか。
＊頭頂部の内装がしっかりと頭に触れているかどうか。
＊チークパッドがほぼ頬骨に密着しているかどうか。
＊前頭部の内装と額部分に隙間が空いていないかどうか、指を入れて確認してください。
もし内装が適切にフィットしていない場合、より小さいサイズを試してください。

**5. 視野が確保されているか確認する**　上下左右、視野がしっかりと確保されているかどうか確認してください。



# i30

- ポリカーボネート複合シェルCADテクノロジーにより軽量で優れたフィット感と快適性を実現。
- 日常使用に適したアーバンスタイルヘルメット。
- "ACS"アドバンスドチャネリングベンチレーションシステム: 大型トップベント/大型リアベント: 大型ベンチレーションが熱と湿気を効率的に前から後ろへ排出します。
- Pinlock Pin Prepared HJ-34 Shield(95%UVカット:視認性を低下させるピンプラスマイクロシールド(+10mm)。
- RapidFree™ Shield Replacement System:安全でシンプルなシールドラチェットシステム。シールド交換も工具不要で簡単。
- Aerodynamic 3D Shield Design: 風の影響を軽減する3D設計。
- サンシールド: 瞬時にシールドを作動し、眩惑:とてもクリアーな視界: 傷防止:コーティング加工。
- 新型サンシールドレバー: 操作しやすい左下部にレバーを配置。
- 抗菌マルチチャルコインテリアを採用: 吸湿性と通気性を強化。
- ヘッドライナー＆チークパッド: 着脱可/洗濯可。
- チークパッド: 全シェルサイズに互換性有り。
- チンストラップ: マイクロバックル。
- 眼鼻スリット: 眼鼻等に対応したスリット入り内装。
- スピーカーポケット: プルートゥース接続対応。
- SMART HJC Bluetooth 対応モデル。

**JIS/SG 承認**
サイズ: **S-XL**

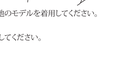
※HJCヘルメットについての詳細はwww.hjchelmets.comをご覧ください。

**⚠警告**　安全なライディングの為に、常に充分な視野が確保されているか確認してください。

**6. ヘルメットのフィッティングチェック**　両手でヘルメットの両側をつかみ、頭が動かないように注意しながら、上下左右にヘルメットを動かします。内装が頭やほほを滑らない状態であれば、ヘルメットのサイズが大き過ぎますので一つ小さいサイズを試してください。ヘルメットを動かそうとした時に、一緒に頭やほほも同方向に動こうとする状態が適切です。

**7. あご紐を締める**　あご紐はできる限り余りが出ないよう確実に締めてください。

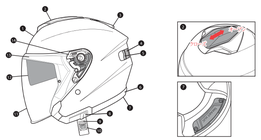
**8. あご紐のフィッティングチェック**
＊ヘルメットの後頭部を持ち、前側に回転させるように押してください。
＊ヘルメットの前側を持ち、後ろ側に回転させるように押してください。



**⚠警告**　ヘルメットがずれたり、視野が遮られたりする場合、他のサイズや他のモデルを着用してください。
必ず視野の上の部分まで見えるようにしてください。

安全性を確保する為、適切なサイズが見つかるまで3～8を繰り返しテストしてください。

### ✿各部の名称



1. シェル
2. トップベンチレーション
3. リアベンチレーション
4. EPS(衝撃吸収ライナー)
5. インナーライナー
6. ボトムガスケット
7. ベースカバー
8. サンバイザーレバー
9. チンストラップ(あご紐)
10. マイクロバックル
11. HJ-34 シールド
12. HJ-V9 サンバイザー
13. アイポート ガスケット
14. ギアプレート

### ✿注意事項

- 走行中にエアインテークのシャッターを操作しないでください。走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多く、再度衝撃を受けた際にエネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ヘルメットの性能を低下させる可能性がありますので、頭とヘルメットの間には何も挿まないでください。必要な場合はヘルメットリムーバー、ヘルメットトイレットキャップ等の専用品をご使用ください。
- ヘルメットを持ち運ぶ時のご注意。ラーヤやシーシーバー等にヘルメットを掛けないでください。ヘルメットは必ずＡ体又はあご紐を持って取り扱いください。内装やシールドをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。又ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はおやめください。ヘルメットに傷を付けるばかりか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険です。
- ヘルメットに塗料、接着剤、その他如何なる溶剤もつけないでください。溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナー、その他部品が損傷し衝撃吸収力が著しく低下します。
- ガソリンがヘルメットに付着しないよう注意してください。ガソリンはヘルメット本体シェルやバイザー等の部品を損傷させる可能性があります。
- 夜間や視界の悪い場所では暗い色のシールドを使用しないでください。
- ケミカル類をご使用の際にヘルメットに損傷を与える可能性があるかどうか分からない場合には、お問い合わせください。
- 走行中は常にシールドを閉めた状態でご使用ください。またシールドの無いヘルメットを使用する場合、必ず目を保護する物を着用してください。
- ヘルメット着用中は間りの音が聞こえにくくなりますので、周囲の音には充分に注意を払ってください。
- ヘルメットを保管する際はヘルメット表面のダメージを防ぐためにヘルメットバッグに入れてください。

**⚠警告**　ヘルメットへのダメージを防ぎ、重傷、死亡のリスクを減らすために、常に正しくヘルメットを着用してください。

### ヘルメットの点検方法

ヘルメットの保護性能を最大限引き出すために必ず使用する前に点検を行ってください。
- ギアプレートの確認をし、ギアプレートの取付ビスに緩みがあれば締め直してください。その際ビスが壊れる可能性があるため締めすぎないように注意してください。
- ヘルメットに破損がないか確認し、破損している場合は直ちに使用をやめてください。詳細は「ヘルメットの交換時期について」を参照してください。
- 部品の消耗、破損がないか確認してください。プラスチックの部品は時間の経過とともに劣化することがあります。部品の消耗、破損を見つけた際は部品を交換するか、新しいヘルメットを購入してください。

**⚠警告**　走行中に部品が脱落してしまうと視界を遮り事故に繋がる可能性があります。
- あご紐にダメージがないか確認してください。擦り切れたり裂けている場合は新しいヘルメットに交換してください。
- パッドが正しい位置にあるか確認してください。左右のチークパッドとインナーライナーが正しく装着されている必要があります。

### シールドの確認

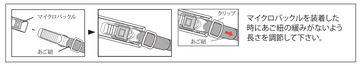
シールドが傷付いていたり破損している場合は、視界を低下させる可能性があります。オートバイを安全に運転するために充分な視界が確保できているかどうか、乗車前に必ず確認してください。

### あご紐の締め方

痛みがない程度にあご紐を顎の下でしっかりと締めます。あご紐は顎にぴったりと合っていなければなりません。あご紐が適切に締められていない場合、事故の際にヘルメットが外れてしまう可能性があり危険です。

**⚠警告**　あご紐が下の図の様に正しく装着できているか、しっかりと緩みなく締められているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと万一転倒した際にあご紐が外れてしまい、重大な後遺症が残ったり、最悪の場合死に至ることもあります。

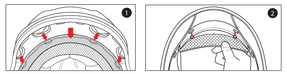
### マイクロバックル




マイクロバックルを装着した時にあご紐の緩みがないよう長さを調節して下さい。

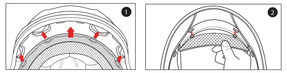
### インナーライナーの取り外し

1. 前側の五カ所のツメを持ち上げながら一つずつ外していきます。
2. 後方の二つのスナップボタンを外してください。



### インナーライナーの取り付け

1. インナーライナーの枠を五カ所のツメの下に挿し込み取り付けます。
2. 後方の二つのスナップボタンを取り付けます。



**⚠警告**　オートバイの運転中にサンバイザーを操作しないでください。
サンバイザーを操作する時はかならずサンバイザーレバーを使って下さい。
夜間はサンバイザーを使用しないでください。
サンバイザーは目を保護する為のものではありません。
シールドを閉めた状態でご使用下さい。

**⚠警告**　色付きシールド及びサンバイザー使用上の注意事項
＊トンネル及び夜間走行の注意
スモークミラー加工等を施したシールドでトンネルや夜間に走行するときは、シールドやサンバイザーを上げるか標準のシールドに交換してください。
視認力の低下を招き思わぬ事故につながる恐れがあります。

### サンバイザーの操作方法

レバーを前へスライドさせるとサンバイザーが収納されます。

レバーを後へスライドさせるとサンバイザーが出ます。

### ヘルメットのメンテナンス方法

#### シェルの清掃について

**⚠警告**　ヘルメットを清掃する際は専用のクリーナーを使用してください。不適切なクリーナーを使用するとシェルやライナーの損傷につながり、死亡や重傷のリスクが高まります。

光沢仕上げのヘルメットは、オートバイや自動車用のケミカルでヘルメットを清掃することを推奨しています。研磨剤は小傷を除去するために有効ですが、ヘルメットの光沢を損なう可能性がありますので、製品の説明をよく読んでご使用ください。また、ステッカーやデカールを貼ると剥がした後に糊が残る場合があります。糊残りを取り除くにはアルコール成分を含んだウエットティッシュ等を使用してください。
その後、アルコール成分が残らないよう、すぐに中性洗剤と水を使って拭き取ってください。強く擦り過ぎると、ヘルメットを傷つける場合がございますのでご注意ください。艶消し仕上げのヘルメットでは、ぬるま湯と中性洗剤を使用することをお勧めします。ひどい汚れには専用のクリーナーを使用し、表面を清掃する際に強く擦ったり、ワックスを使用しないでください。

1. ヘルメットに付着した汚れ(虫や草など)は１日以内に清掃してください。
   ■　クリーニング方法
   1) ぬるま湯と柔らかい布でヘルメットを清掃します。
   2) こびりついた汚れが残った際は、ヘルメットが乾いてから消しゴム等を使用して取り除いてください。
      ※アルコールやシンナー等の薬品は使用に損傷を与える可能性があるので使用しないでください。
2. 油汚れは取れにくいので付着しないように気を付けてください。

#### 内装の清掃について

ヘルメットの内装は生地や縫い目に汗、湿気、汚れが溜まりると臭いの原因となることがあります。取り外し可能な内装は手洗いを推奨しています。洗濯機を使用する場合はネット等に入れてから洗ってください。脱水機は内装を痛める可能性がございますので使用しないでください。また、内装が取り外し不可能なヘルメットの内装は市販の消臭・抗菌スプレー等の使用を推奨しています。

#### ベンチレーションの清掃について

泥や異物がヘルメットのベンチレーションを塞いでしまうことがあります。手の届かない場所に異物が入った場合には、エアーダスター等を使用して除去してください。またその場合、清掃を行う前に内装を取り外すことをお勧めします。

#### シールドの清掃について

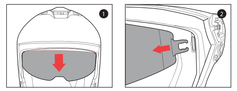
ヘルメットのシールドは、強化コーティング を施したポリカーボネートでできています。シールドを清掃する際には中性洗剤にぬるま湯を使用してください。コーティングを保護するために、注意深く取り扱ってください。塩水、ベンジン、シンナー、ガソリンなど の薬品は使用しないでください。傷がついたシールドは交換を強く推奨します。有色シールドは「昼間のみ使用」するためのものであり、夜間や視界不良での使用には適していません。

### シールドの取り外し

1. シールドを少し前に引いてから上まで持ち上げます。
2. ハンドルロッカーを矢印の方へスライドさせて下さい。
3. シールドがギアプレートから外れます。

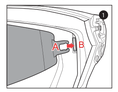
### サンバイザーの取り外し

1. サンバイザーを下した状態で、サンバイザーの上端が見えるまで引き出して下さい。
2. サンバイザーの横側を矢印の方向に引っ張り外します。同様に逆側も外して下さい。



### サンバイザーの取り付け

1. サンバイザーの横端のタブ(A)をホルダー(B)に差し込んで下さい。同様に逆側も差し込みます。




※サンバイザーを取付ける時は確実にタブを奥まで挿し込んで下さい。挿し込みが浅いとサンバイザーが正しく作動しません。

#### 補修用パーツについて

**⚠警告**　HJCが製造していないパーツの使用は危険で、事故で重傷を負う可能性が高まります。必ずこのヘルメット用のHJC純正パーツのみを使用してください。

#### ヘルメットの改造は絶対にしないでください

HJCヘルメットは国際的な規格の基準を満たすように設計されています。ヘルメットの改造 をすると保護性能が損なわれ、重大な怪我や死亡のリスクが高まります。以下の項目を含め、いかなる改造もしないでください。
ヘルメットの改造は事故の際の怪我の危険性を高めます。絶対にヘルメットを改造しないでください。改造とは以下の通りです。

- ・穴を開ける
- ・粗挽、ライプ、あご紐を切る
- ・あご紐の改造
- ・部品を取り外した状態での使用
- ・塗装
- ・HJC純正品以外のアクセサリーの装着

改造に関するご質問がございましたら、お問い合わせください。

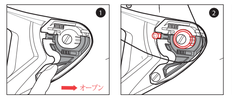
### ヘルメットの正しい保管方法

**⚠警告**　不適切に保管されたヘルメットは損傷を受け、事故で重傷を負う リスクが高まります。

- ・涼しく、乾燥した場所で保管してください。
- ・ペットやその他の動物に近付けないようにしてください。
- ・高温になる場所に保管したり、高温の物に近付けないでください。
- ・直射日光に当たる場所に長時間置いておくとヘルメットの保護性能が著しく低下する可能性があります。

### シールドの取り付け

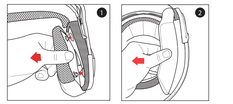
1. ハンドルロッカーがオープンの位置になっていることを確認してください。
2. シールド内側の突起部分を図示の様に合わせ、挿入してください。
3. カチッという音がして、シールドが固定されます。




**⚠警告**　ヘルメットを使用する前に、パッドが正しい位置にあるか必ず確認してください。パッドが適切に取付けられていないと、事故の際に、重傷や死亡のリスクが高くなる恐れがあります。

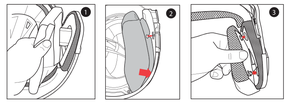
### チークパッドの取り外し

チークパッドはスナップボタンとプラスチック板で固定されています。
1. チークパッド内側にある３つのスナップボタンをゆっくり外して下さい。
2. チークパッドを図示の様に引いて取り外して下さい。



### チークパッドの取り付け

1. チークパッドにあご紐を通します。
2. プラスチック板をシェルとＥＰＳの間の隙間に入れます。
3. スナップボタンをとめます。



### ヘルメットの交換時期について

**⚠警告**　HJCヘルメットはなるべく長くご使用いただけるよう最適な素材を使っておりますが、最終的には新調していただく必要がございます。次の場合はすぐにヘルメットを交換してください。
- ・衝撃を受けた場合。ヘルメットは弾印の衝撃吸収するために設計されています。衝撃を受けるとシェルにダメージが残ったり、衝撃吸収ライナーが潰れてしまうことがあります。そのダメージは目視で確認できない場合もあります。どのような衝撃や激突(例えば1.2mの高さからのヘルメットを落とした場合でも)も、ヘルメットにダメージを与える場合があります。
- ・シェル、衝撃吸収ライナー、及び内装は最大限の保護性能を発揮するために、良好な状態でなければなりません。

ヘルメットが損傷を受けていない場合でも、使用量に応じて3～5年ごとに交換する必要があります。時間の経過とともに紫外線等によりヘルメットの劣化が進みます。劣化したヘルメットを着用すると万が一の事故の際、重大な怪我や死亡のリスクが高まります。ヘルメットの交換が必要かどうか判断がつかない場合には、そのヘルメットを使用する前にお問い合わせください。

#### ヘルメットの処分

**⚠警告**　新しいヘルメットを購入した際は、古いヘルメットを再使用できないように破棄してください。古いヘルメットが破損していなくても販売したり、譲渡しないでください。ヘルメットは使用するにつれ、内装が着用者の頭の形に合うよう形成されていきます。他の誰かがこのヘルメットを使用しても適切な保護性能を得ることは出来ません。

### 保証について

製品の材料や製造過程に不具合があった場合、以下に定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理等を行います。

#### 本保証の対象

この保証は製造時の欠陥にのみ適用され、保証期間はモデルによって異なります。BPHAシリーズの保証期間は購入日から5年間または製造日から7年間、他の全モデルの保証期間は購入日から3年間または製造日から5年間のいずれか早い方です。この保証は着用者の誤用、違反、改造、事故などに起因する問題には適用されません。蛍光色の色褪せや光沢は蛍光色の典型的な特性であり、使用環境によっては生じることがありますので保証の対象ではありません。

#### 免責事項

本製品の不具合に起因する付随的損害(本製品の使用損失)、ご使用中に生じた不具合または本製品の使用によって受けられた損害や得べからり利益の損失等)については一切その責任を負いません。

#### 保証サービスのご利用方法

保証を受けるにはヘルメット、購入日を示すレシート、問題の説明、お客様のお名前、電話番号などの簡単なメモをヘルメットを購入した正規のHJC販売店にお持ちください。